

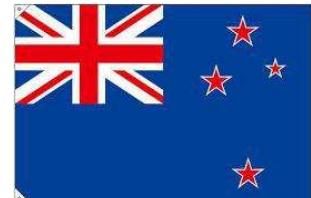


香芝市国際交流市民の会

# グローバル香芝

*The International Exchange Society, Global Kashiba*

あの留学生は今……㉚

ドリアン・リーバート…ニュージーランド

秋分も過ぎ、気がつけば間もなく衣替えです。今号の「あの留学生は今」を書かせていただきます、2013年10月～2014年9月の一年間大阪教育大学で日研生として留学いたしましたドリアン・リーバートと申します。グローバル香芝の皆さまはお変わりなくお過ごしでしょうか。

今回のことを頼まれたときにいくつか前のニュースレターを参考にいただきましたが、残念ながら私にはここに掲載できる可愛い子供の写真はありません。とはいえ、子供に関わっていないわけでもありません。留学修了後ニュージーランドに帰国し、翌年に最後の必要な単位を取得して無事卒業できました。

その後、2016年の4月から日本に戻られたものの、栃木の英会話学校での就職となりますと私が知っていた大阪近辺はまだ遠く感じました。毎年関西へ帰ることを企みながら、関東で3年間子供の語学に関わりました。そして遂に機会が与えられ、元号が変わる前の4月に京都に引っ越し、今度は講師としてではなく園長として働き始めました。

教育の前線から一步引いた立場で子供に関われる時間が減った悲しさを感じない日はありませんが、毎日新しいチャレンジがあり、日本にいながらも仕事の関係で日本語を使えない悔しさは解消されました。そして何よりも留学の時にできた友達とまた頻繁に音楽ができるようになりました。大阪教育大学の定期演奏会にもたまにエキストラとして出演させていただいておりますので、公演に行かれる方はもし見かけたら是非お声がけください。

しかし、今歩んでいる人生は、もしあの時に留学の面接に落ちたり、大阪に来ても上手くいかなかったり、グローバル香芝のイベントに誘われなかったりしたら夢でも見られなかつたでしょう。

「英語、英語」と呼ばれ続く今の日本だからこそ、グローバル香芝の皆さまの文化体験や言語学習サポート活動が必要とされると私は思います。これからも皆さまの絶えぬご活躍を願っております。



ドリアン・リーバート

香芝市在住外国人数: 30ヶ国 577名

2019年10月31日現在

アメリカ:13、イギリス:5、インド:2、インドネシア:6、オーストラリア:1、オランダ:1、カナダ:2、韓国:219、  
ギリシャ:1、コスタリカ:1、シンガポール:1、スリランカ:1、タイ:12、台湾:15、中国:90、朝鮮:5、トルコ:1、  
ネパール:15、パキスタン:9、ブラジル:14、フィリピン:47、フランス:1、ブルガリア:6、ベトナム:95、ペルー:1  
ポーランド:1、マレーシア:1、ミャンマー:8、ルーマニア:2、ロシア:1

## ◇日本語勉強会

### - 助言表現「たほうがいい」「たらいい」の教え方

2019.07.27(則松)

今年度初めての日本語勉強会を7月27日(土)、ふたかみ文化センターの第3会議室にて行いました。当日は会員13名、市民2名、計15名が参加し、今年より、新たに大西まき先生を講師にお招きし、外国人日本語学習者が誤用しやすい表現について学習しました。解りやすい指導のもと、参加者は4つのグループにわかれ、それぞれ状況設定をし、ディスカッションの内容をロールプレー形式で発表をしました。



日本語学習支援をしていく中で出会う、様々な問題点を解決する一助となったのではないかと思います。

最後に先生の方から今後の進め方についての説明があり、受講者からは今後、講座で学びたい事を先生に伝え有意義な講座が終了しました。

## ◇白鳳短期大学への日本語学習支援を振り返って。

### 【白鳳短期大学の辻田先生からの寄稿】



グローバル香芝の皆様には、長年にわたって本学留学生の実践会話授業でのご支援をいただき、本当にありがとうございました。留学生たちは、皆様との会話練習により、授業で学ぶ日本語だけでなく、まさしく生きた日本語を使う機会を与えていただきました。また、授業のみならず、休みの日の山登りにお誘いいただいたり、お宅に招いていただいたりと、皆様との関係により彼女たちの留学生活がより豊かなものになりました。

今回、国際人間学専攻を閉じることとなり、実践会話授業は終了いたしますが、今後も皆様には地域の国際化の中心となりご活躍いただきたいと思っております。

また、本学留学生たちにとってのふるさとのような存在でもあり続けていただければと思っております。



白鳳短期大学 国際人間学専攻 専攻長 辻田真智子

実践会話授業が終わることを知り、長年の交流があったので驚くと共に寂しくもあります。思い返しますと大学創立当初“インタビュープロジェクト”という留学生の授業の一端に参加したのをきっかけに日本語支援が始まりました。初めの頃は学外での支援でしたが、先生方のご尽力により空き時間に希望者のみの支援から現在の先生のご指導の下、実践会話の授業の中での支援へとなりました。私たちは支援を通して留学生から大変多くを学ぶことができ感謝しています。香芝市民にとっても留学生の皆さんに参加してもらったホストファミリー、国際理解セミナーや他のイベントから国際理解、国際交流の意識が深まったのではないでしょうか。白鳳短大で学ばれた留学生が母国や日本で、益々活躍されることを願っています。

(グローバル香芝:河合喜美子 記)

## ◇第60回 国際理解セミナー 「日本で学んだこと プレジャーシェアが幸せを増す」

2019.09.14(玉置)

9月14日(土)第60回国際理解セミナーがふたかみ文化センター会議室で開催され、48名が参加しました。講師のラミチャネ・プルショタム氏から、ネパールについて、そしてご自身の日本との関わりについてお聞きすることができました。

ラミチャネ氏は、ネパールの貧しい家庭に生まれ、学校にも通えませんでしたが、日本のINGOを通じて知り合った、島田さんという方から、学費の支援を受け、就学することができました。ラミチャネ氏は、ネパールにたびたび訪問された島田さんとの交流を通じて、日本に興味を持ちのちに日本語を学んでおられた現在の奥様と、日本という共通点を通じて出会い、共に来日されました。

大学卒業後、ラミチャネ氏は、ネパールでメディア関係業務に従事され、ご自身が仕事を通じて学んだことを発信するため、メディアハウスを設立されました。

現在、メディアハウスの経営は実弟に任せ、ラミチャネ氏は大阪でインド・ネパール料理店を経営されています。



連鎖が「プレジャーシェア」であると、私たちに教えてくださいました。

最後になりましたが、多方面でご活躍し、ご多用の中お越し下さったラミチャネ氏に感謝すると共に、今後益々のご活躍を心からお祈りしております。

### 【参加者の感想】

- ・プレジャーシェアと言う考え方方がとても心惹かれます。講師の方の人柄の良さ、優しさが伝わってきました。
- ・話を聞いて、こちらの気持ちがとてもホットになりました。良いお話をありがとうございました。
- ・日本語でわかりやすく話され、ネパールに行った気持ちになりました。楽しいひとときをありがとうございました。
- いろいろな事を知ることが出来ました。
- ・お話しの内容は心温まるすてきな話でした。ありがとうございました。



これらの収益の一部は、子供たちへの学費支援、老人ホームでの慰問活動などに充てられ、自らも様々な場所に出向き、社会福祉活動に邁進されています。

今回のセミナーでは、ラミチャネ氏が自らの経験を踏まえて、自分のできる少しの手助けが誰かの救いになり、ひいては自分の喜びになるという、幸せの



## 一メンバーひとりごと 64-

### ー世界の人々と共にー

金石 弘二



こんにちは。

グローバル香芝ホストファミリー部で活動中の金石です。

私とグローバル香芝との出会いは、3年前に香芝市に引越してきた時から始まりました。

高校生までは、山口県秋芳町(現美祢市)の人口約7,000人の小さな町で育ちました。秋芳町は、自然豊かで、国定公園の秋吉台や秋芳洞が、有名な観光地でした。春と秋の観光シーズンには、いつも静かな町が、観光客であふれ、道路は大渋滞でした。日本のみならず、世界各国から、多くの観光客が来られていました。今思えば、その頃から、外国へのあこがれと、外国の方への親しみがあったと思います。

そんな私の初めての海外旅行は、大阪の大学に入学してからでした。大学2年生になり、学校生活にも慣れて刺激が少なくなったかもしれません。初めての海外旅行にして、いきなり台北市に約1ヶ月ホームステイをしながらボランティアスタッフとして活動した事でした。現地スタッフの方のご自宅でしたが、英語も中国語もまともにしゃべれない私を、あたたかく迎えてくれました。「お腹が空いた」「トイレに行きたい」など、自分の知っている単語を並べ、筆談(漢字)、ボデーランゲージでコミュニケーションを取りました。現在、大阪でサラリーマンをしながら、グローバル香芝で活動中ですが、趣味の旅行と好きなサッカーを、両方、堪能できるサッカーワールドカップにはまってしまいました。4年に一度のワールドカップですが、2010年南アフリカ、2014年ブラジル、2018年ロシアと3大会連続で各国を訪問するようになりました。南アフリカのツアー旅行から、少しづつ一人旅に切替、インターネットと旅行雑誌を元に、計画をたてました。ブラジルの際は、隣国ペルーより入り、マチュピチュやナスカの地上絵なども見る事ができました。郷里にも似た大自然と、古代遺跡の神秘を感じました。ワールドカップでは、片言の英語で、格安ホテルに泊まり、電車とバスなどで街中を移動しました。大会ボランティアスタッフや現地の方に道を聞いて、なんとかスタジアムや目的地に辿り着けました。世界で最高のプレーを見る事ができました。また、ロシアでは、30分以上も老紳士が一緒にホテルを探してくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

毎回、もっと言葉を勉強してくればよかったと反省の念に駆られながら、必死で思いを伝えました。そんな私の受けた恩恵を、少しでもお返しできるように、現在グローバル香芝で活動中です。

ホストファミリー部は年2回(春と秋に)、1日だけのホームビジットで外国の方を各家庭に受け入れをお願いしています。

みなさんも、私達と一緒に活動しませんか!

\*次回は鈴木 正博さん

### ◆◆ “グローバル香芝” 入会のご案内 ◆◆

香芝市の国際交流に参加できる個人や団体で国際交流に興味をお持ちの方、私達と一緒に活動しませんか。

語学力や国籍に関係なく、どなたでも入会することができます。

〈会 費〉 個人会員 年間 3,000円／賛助会員(団体) 年間 10,000円

〈月例会〉 日 時:毎月第三水曜日(11/20、12/18、1/15、2/19、3/18) 10:00～12:00

場 所:香芝市中央公民館

#### ◆申し込み・問い合わせ先

・香芝市役所 市民協働課:(☎:0745-44-3314, Fax:0745-78-3830)

・グローバル香芝:小椋 宏子(☎:0745-78-3398)または平岩 晖国(☎:0745-73-9255)

e-mail: [nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp](mailto:nijosan3231@global-kashiba.matrix.jp) までお気軽にどうぞ!

◆ホームページアドレス <https://global-kashiba.mahoroba.club/>

編集発行：グローバル香芝 広報部

連絡先：〒639-0292 香芝市本町1397 香芝市役所 市民協働課

電話：0745-44-3314 Fax:0745-78-3830